

大 淀 町

社協だより

第7号

令和3年
7月発行

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート



大淀町指定の史跡

保久良古墳

今木地区の小字「津角山」にあり、吉野口駅から国道309号線沿いに今木方面へ20分程歩いたところで、国道脇から50mの高台に位置しています。



◆内容◆

- ・緊急小口資金、総合支援資金のお知らせ
- ・生活支援コーディネーターとは
- ・大淀町高齢者地域見守り協定事業とは
- ・新入職員の紹介
- ・令和2年度決算報告
- ・善意銀行事業報告
- ・ほうかつ通信

発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下湊 1223 番地 TEL0747 - 52 - 1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

緊急小口資金、総合支援資金
等に関するお知らせ

各都道府県では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等で収入が減少したことにより、生活の維持が困難になっている世帯等を対象に、生活資金の特例貸付け（緊急小口資金、総合支援資金）を行っています。また、申請の受付期間が延長されていますのでお知らせいたします。

○緊急小口資金

貸付上限：20万円以内
据置期間：1年以内
償還期限：2年以内



○総合支援資金（貸付期間：3カ月以内）

貸付上限：2人以上世帯20万円以内
単身世帯15万円以内
据置期間：1年以内
償還期限：10年以内

①初回貸付

令和3年8月31日まで新規受付可能

②再貸付

初回貸付の第3回目の送金が令和3年8月までに完了する世帯が対象です。

申請をお考えの方は、大淀町社会福祉協議会までご相談ください。

※条件や受付期間などは変更される場合があります。

生活支援コーディネーター
ご存知ですか

地域における住民等による支え合いづくりを推進するため、体制整備に向けた調整役として、平成30年4月から生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置しています。

役割は、地区の「あること（社会資源・財産）」と「あったらいいな（地域ニーズ）」を見つけ、つなぎ合ったり足りないものを新たに創るための支援を行うことで、高齢者の「自助」と地区の「互助」の推進をお手伝いします。

実際には、各地区へ出向いて住民懇談会を開催して、その地区での必要なことは何か等の現状を把握します。そして思いやりネットワーク協議体で会議を重ね、各地区での支援を進めていきます。

今後は、ますます自助・互助が必要になると言われています。いつまでも元気な自分、元気なお隣さんでいられるように、支えあいができる元気な地域を一緒に目指しましょう。



大淀町高齢者地域見守り
協定事業とは

大淀町社会福祉協議会と大淀町が実施主体となって、民間事業者と協定を締結し連携を図りながら、高齢者が地域で安心・安全に暮らせるように見守る事業です。

平成28年4月より開始し、現在、市民生活協同組合ならコープ、下市郵便局、奈良ヤクルト販売株式会社、奈良県農業協同組合、アイザワ証券吉野支店の計5社の民間事業者と協定を締結しています。

協定事業者には、高齢者世帯へ配達や集金等の日常業務中に、無理のない範囲で見守りも行っていただきます。その際に何か異変を感じたことがあれば、社会福祉協議会や町役場が連絡を受けて早期に対応し、必要な支援を行います。

今後も、定期的な訪問を行っている事業者だからこそこの気付きから、住民さんの支援につながっていくネットワークの拡大を目指しています。

ご協力いただける事業者を募集しておりますので、是非、社会福祉協議会までご連絡をお願いいたします。



新入職員の紹介

4月から大淀町社会福祉協議会で勤務しております増田大と申します。社会人一年目の未熟者ですので、まだまだ緊張の日々を過ごしています。先輩方や住民の皆さまのご指導のもと、人とのつながりを大切にしながら、地域福祉の推進に貢献できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



名前：増田 大
(ますだ だい)

所属：総務福祉課地域福祉係
資格：社会福祉士
趣味：散歩
特技：剣道（二段）

令和 2 年度 決算報告

令和 2 年度の大淀町社会福祉協議会事業並びに収支決算は、下記のようになっております。

- (1) 包括ケアシステムの構築に向けた取り組み
- (2) 介護サービス事業の質の向上とセーフティーネット機能
- (3) ボランティアの育成と活動の促進
- (4) 福祉・介護に携わる人材の養成と資質の向上
- (5) 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置



■資金収支計算書

収入の部		支出の部	
会費収入	35,000	人件費支出	165,790,333
寄付金収入	38,000	事務費支出	33,760,849
経常経費補助金収入	23,079,617	助成金支出	306,692
受託金収入	51,719,268	共同募金配分金事業費	468,000
事業収入	109,200,526	固定資産取得支出	3,028,520
その他の収入	2,169,682	繰入金支出	16,753,740
繰入金収入	16,753,740	積立資産支出	682
積立資産取崩収入	282,870	合計	220,108,816
合 計	203,278,703	当期資金収支差額	△16,830,113
		前期末支払資金残高	82,091,805
		当期末支払資金残高	65,261,692

■貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	81,304,051	流動負債	16,042,359
固定資産	78,860,305	その他の積立金	75,709,819
		次期繰越活動収支差額	68,412,178
資産の部合計	160,164,356	負債・純資産の部合計	160,164,356

大淀町善意銀行事業報告

■ 地域福祉活動推進事業

地域で福祉活動をされている団体などへの助成を行いました。

■ 教育対策事業

大淀中学校の新入生で自転車通学する学生にヘルメットの寄贈を行いました。
町内に設置されている飛び出し防止人形の設置費用の助成を行いました。

■ 車いす貸出事業

大淀町に居住する身体障害者及び高齢者に対し、車いすの貸出を行いました。



大淀町善意銀行では皆様からの預託（寄付）を受け付けています。
「温かいお気持ち」をお繋ぎさせていただきます。

ほうかつ通信

◆◆ 高齢者介護世帯での災害への備え

〜いざという時の防災袋の準備について〜

近年、毎年のように大きな地震や自然災害による多くの被害が出ております。皆さんは、災害時の準備はできていますか？

災害時の一般的な備えとして、家具の転倒防止対策、食料・飲料などの備蓄、防災袋の準備、家族間での安否確認の方法、避難場所・避難経路の確認などをおこなってください。

特に、高齢者や介護をする家族さまにとっては、高齢者特有の必要物品もありますので、そちらの方の準備も必要になります。

●まずはリストの作成から

「ない」と困るもの「あったら便利なもの」など、災害時に介護をすることを想定し、必要なものリストを作ってから準備しましょう。

●防災袋の準備

高齢者特有の必要物品は忘れやすいので、防災袋と一緒に準備しておきましょう。

①お薬・お薬手帳

疾患によっては絶対に途切れさせてはいけません。災害時にはすぐに薬が手に入らないことも考えられますので、医師に相談し、災害に備えた量を確保しておきましょう。また電子機器が使えなくなる場合もあるので、お薬手帳は非常に大事になります。

②おむつ

おむつは吸水力が高いので、汚れそうなどころに敷いたり、水を使う処置にも使うことができます。ビニールの中に敷くと簡易トイレとしても使うことができ、役立ちます。避難所ではトイレが混んだり使いにくかったりしますので、普段は使用しない人でも多めに準備しておくことをお勧めします。

③入れ歯・とるみ剤

災害時に支給される食べ物は、おにぎりやパンなどが多く嚥下機能が衰えている場合は、誤嚥性肺炎の心配があります。

④口腔ケア用品

口腔内が清潔に保てないと、肺炎をおこしやすくなります。

また、飲み込み訓練（大淀町では誤嚥にならない体操を行っています）も日頃から取り組んでいきましょう。

●地域包括支援センターへ相談

4月より大淀町地域包括支援センターは町役場2階から1階に移転しております。

介護、医療、暮らしの困りごと、その他にも介護予防教室、出前講座等のご希望がありましたら、地域包括支援センターまでご連絡ください。

☎0747-52-7760



遺言・相続のことなら（相談無料）

なかで 中出司法書士事務所

大淀町土田一八四一九 ライフ・コーナン横
JA西部支店前

☎0747(五)26577

あとがき

今回の表紙は保久良古墳（ほくらこふん）です。保久良古墳は大化の改新の立役者で知られる天智天皇の息子で建皇子（たけるのみこ）の殯（もがり）塚として知られています。

建皇子は斉明天皇の皇孫でもあり、生まれつき声が出せず、8歳で亡くなったそうです。その悲しみを斉明天皇が歌にし、自らの墓に彼を合葬するように言い残しています。その歌に登場する「イマキ」が、今木地区の地名の由来になっているそうです。また、歴史的貴重な古墳として、平成24年7月26日に町指定の文化財となっています。

さて、みなさん暑い毎日がやってきましたね。外出時は、室内の換気やマスクの着用で、特に暑くなりますよね。水分は持ち歩いて、しっかり補給してくださいね。

（とき）

